

## 1. 基本情報（令和5年5月31日現在）

人口	75,775人	保護率	1.41%
----	---------	-----	-------

## 2. 支援状況（令和3年度）

新規相談受付件数	15.7/月				
プラン作成件数	2.2/月				
就労支援対象者数	1.8/月				
就労・増収率（%）	61.9				
任意事業等の実施状況（令和5年度（予定））					
支援会議	就労準備	家計改善	シェルター	地域居住	子ども
×	○	○	×	×	○

## 3. 事業の概要等（令和5年度）

実施方法	委託（NPO法人まることびおら） 自立相談支援事業及び家計改善支援事業については、社会福祉法人大仙市社会福祉協議会へ委託しているが、2法人が支援調整会議に参画することで連携し、一体的に実施している。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労準備支援担当者2名を配置。</li> <li>PC教室や体験就労等を通じた支援を行っている。</li> <li>市内のひきこもり者等に対するアウトリーチも行っている。</li> </ul>
事業費	9,794千円
その他特記事項	30社を超える協力企業のネットワークがあり、体験就労の受入をスムーズに行うことができる。

## 4. 事業の立ち上げプロセス

## 開始前

平成27年に自立相談支援事業を開始し、相談を受け入れる体制が整い、いわゆる「入口」は整備されたものの、「出口」であるその先の支援が不十分であった。

大仙市社会福祉協議会からの要望  
【6ヶ月前】

平成27年4月より、自立相談支援事業を開始したが、委託先である大仙市社会福祉協議会より、対象者の多くが、生活費が無く生活が出来ない問題等、緊急に対応しなくてはならない問題を抱え、早急な支援が求められている状況の中で、自立相談支援事業のみでは対応が難しいことから、任意事業の実施が必要であるとの要望があり、検討した結果、就労準備支援事業及び家計改善支援事業を実施する方針が決定した。

庁内の財政部局との調整  
【5ヶ月前】

担当課における方針決定を受け、次年度からの事業実施に向け、庁内の財政部局等へ事業の必要性を説明し、調整を行った。

委託先の検討  
【5ヶ月前】

委託先については、平成25年4月に市が「子ども・若者支援地域協議会」を立ち上げたことに伴い、関連事業を委託し、就業・復学に向けた自立支援を行う事業に取り組んでいた実績から、NPO法人まることびおらに決定した。

## 平成28年4月 事業開始

## 事業実施

実績：利用者なし（令和3年度）

- 令和3年度は利用者がいなかったが、令和2年度以前の利用者のうち、コミュニケーションに課題がある対象者などから、本事業内で就労体験等を通じて、就労への意欲が出てきたという声があった。
- 平成30年よりアウトリーチ事業も開始し、訪問世帯も増え、潜在的な対象者の把握は進んでいるが、本事業の利用に上手くつなげることが難しい。